



日本語検定

ミ ニ テ ス ト

4

級

問1 ● 〈敬語〉

【 】のような場面で、（ ）に入る敬語を使った適切な言い方を一つ選んで、番号で答えてください。

一 【美術部の先輩せんぱいに質問して】

初めて油絵を（ ） たのはいつ頃ときですか。

「1 お描かきになっ 2 お描かきになられ 3 お描かきし」

二 【荷物にものを送ってくれた伯母おばに、受け取ったことを報告して】

（ ） た荷物、先ほど届ときました。ありがとうございます。

「1 お送おくりしてくださっ 2 お送おくりくださっ 3 お送おくりになっ」

問2 ● 〈文法〉

次のようなことを言うとき、（ ）部分はどちらの言い方が適切でしょうか。適切なほうを選んで、番号で答えてください。

一 傘かさを持っていたので、ぬれずに（1 帰かえってこられ 2 帰かえってこれ）ました。

二 そのことについて、僕ぼくからも少し意見を（1 言いわさせ 2 言いわせ）てください。



問3 ●〈語彙〉

一は【 】の中の言葉と似た意味を表す言葉を、二は【 】の中の言葉と反対の意味を表す言葉を選んで、番号で答えてください。

一 【母国】

- 「 1 亡国 2 愛国 3 故国 」

二 【辛勝】

- 「 1 常勝 2 大勝 3 必勝 」

問4 ●〈言葉の意味〉

一、二の見出しに掲げた言葉は、一方の文では適切に使われていますが、もう一方の文では適切に使われていないといえません。適切に使われているほうの文を選んで、番号で答えてください。

一 【二つ返事】

- 1 山田君にプラスバンド部の会計係を頼んだら、二つ返事で引き受けてくれた。
2 弟に、母に言われたお使いを代わってもらえないかと頼んだら、二つ返事で断られた。

二 【一事が万事】

- 1 祖父は物知りで、私のどんな質問にも一事が万事答えてくれる。
2 彼は一事が万事この調子で、今日も待ち合わせの時間に遅れてきた。

問5 ●〈表記〉

一、二の文には、パソコンで入力したときの変換ミスが一つずつあります。誤っている表記を含む言葉の正しい書き方を答えてください。

一 寄付は本人の意志によってなされるべきであり、他者が共用してはいけない。

二 勉強でもスポーツでも、競走相手の存在が成績向上につながる場合が多い。

問6 ●〈漢字〉

一、二のA・イの（ ）に入る漢字として適切なものを、それぞれの【 】の中から選んで、番号で答えてください。同じ番号を二回使ってもかまいません。

一 【1 働 2 道 3 導】

A 緊急時には、係員の誘（ ）に従って避難してください。

イ（ ）義的な面から見ても、彼の行為は許されるわけではない。

二 【1 片 2 肩 3 型】

A 彼の（ ）を持つつもりはないけれど、とっさにうそをついてしまった気持ちは分からないでもない。

イ 広場の（ ）隅に、だれかが忘れていったサッカーボールが転がっている。

問1 ● 解答 一：1 二：2

一 先輩の行為について、「おくになる」という尊敬表現を使っている、1「お描きになる(た)」が適切です。2は、「お描きになる」に、さらに尊敬の助動詞「れる」を重ねた過剰敬語になっています。3は、謙讓表現「おくする」の形が使われているので不適切です。

二 お礼を言う場面なので、3のように単に「おくになる」という尊敬表現を使うのではなく、相手の行為が自分の側にとつてありがたいという気持ちを表現することが望めます。したがって、2「お送りくださつ(た)」が適切です。1の「お送りして」は、相手の行為について、「おくする」という謙讓表現を使つていて不適切です。

問2 ● 解答 一：1 二：2

一 「帰ってくる」の「くる」は、カ行変格活用動詞なので、可能の言い方は、未然形「帰つてこ」に可能の助動詞「られる」を付けた、1「帰つてこられ(ました)」が適切です。2「帰つてこれ(ました)」は、「れる」だけを付けた、ら抜き言葉です。

二 「言う」は、五段活用動詞なので、使役の言い方は、未然形「言わ」に使役の助動詞「せる」を付けた、2「言わせ(て)」が適切です。1「言わせ(て)」は、「せる」の代わりに「させる」を付けた、さ入れ言葉です。

問3 ● 解答 一：3 二：2

一 「母国」は、自分が生まれ育つた国のこと。似た意味を表すのは、何らかの事情で外国にいる人からみた、自分の生まれた国という意味の、3「故国」です。1「亡国」は、国が滅びること、また、滅んだ国のことです。2「愛国」は、自分の国を愛することです。

二 「辛勝」は、小さな差でやつと勝つこと。反対の意味を表すのは、相手に大きな差をつけて勝つという意味の、2「大勝」です。1「常勝」は、常に勝つ、つまり負けることがないという意味。3「必勝」は、必ず勝つという意味で、これから行われる試合などで、必ず勝とうとすること、また、その心構えのことです。

問4 ● 解答 一：1 二：2

一 「二つ返事」は、その場ですぐに快く承諾の返事することなので、1の使い方が適切です。2は、その場ですぐに断られたという文脈なので、不適切な使い方です。

二 「一事が万事」は、一つのことに見られる傾向が、他の多くの同種のことにも同様に見られる様子を用い、2の使い方が適切です。一般に、人の好ましくない言動について言うときに使われることが多い言葉です。1は、単に「全て」というような意味で使っているので、不適切な使い方です。

問5 ● 解答 一：強要 二：競争(相手)

一 本人が望んでいるわけではないのに、他者が無理やり寄付させようとしてはいけないということで、「強要」が正しい書き表し方です。「共用」は、複数の人が共同で使うことで、「共用の施設」などと使います。

二 優劣を競い合う(相手)ということで、「競争(相手)」が正しい書き表し方です。「競走」は、陸上競技の一つで、一定の距離を走つて速さを競うこと。「障害物競走」などと使います。

問6 ● 解答 一ア：3 イ：2 二ア：2 イ：1

一 音が「ドウ」である漢字の使い分けです。アは、3「導」を入れて、人や物を、目的の場所や状態に導くという意味の「誘導」になります。イは、2「道」を入れて、人の行くべき正しい道という意味の「道義」になります。1「働」は、はたらくという意味を表す漢字です。

二 訓が「かた」である漢字の使い分けです。アは、腕の付け根の部分のことである2「肩」を入れて、その人の味方をするという意味の「肩を持つ」になります。イは、中央部から外れた端のほうの部分であるという意味を表す1「片」を入れて、中心から離れた目立たない場所という意味の「片隅」になります。3「型」は、同じ物事をつくるものになる、一定の形式をもつたものという意味を表す漢字です。